

高浜発電所 WANOピアレビューの概要

1. 日程

平成24年11月15日～29日(うち10日間)

2. 対象

高浜発電所1～4号機(すべて定期検査中)

3. 目的

世界各国の専門家からなる専門チームが、「運転」「保守」「放射線防護」等の分野について、現場作業の観察やインタビューなどを通じ、他の発電所の参考となるような取組みや、世界の最高水準と比較して更に改善できる場所について事業者と議論を交わすことで、原子力発電所の安全性や信頼性をより向上させることを目的としている。

4. ピアレビュー実施者

世界の原子力発電事業者21名
(台湾、アメリカ、韓国、中国、南アフリカ、日本)

5. 実施状況

○インタビュー



○現場観察



○現場観察



○会議



WANOピアレビュー結果(概要)

○高浜発電所における多くの活動や取組みは日常的によくできていると考えられる。いくつかの提言できる点はあるが、発電所の従業員は、ほとんどの領域で適切な安全最優先を意識した行動を実行している。

○特筆すべき強みとして、

- ・福島第一原子力発電所事故を踏まえ、水密化対策、電源確保、冷却機能確保等の設備対策、および対応訓練がすでに実行されているとともに、津波に対する深層防護の観点で強化が図られていること、
- ・作業員の安全な作業環境の確保と効果的なコミュニケーションを確実にする観点から様々な設備が活用されていること、などが挙げられた。

○提言として、

- ・「異物混入の可能性の最小化」、「労働安全」、「作業員の被ばく低減」、「化学薬品管理」、「ヒューマンエラー低減ツールの活用」などに関して、さらなる充実のため、原子力産業界のベストスタンダードを効果的に活用するのがよいということが挙げられた。